第22号　本小の教育「授業研修会」　4年互見

○ 授業スタンダード期　「授業の型づくり」

今週から来週にかけて、４学年の「リレー方式・互見授業」のスタートである。３・４年の中学年は、学習面でも、成長過程でも、難しく大変な時期ではある。が、また、やり甲斐のある楽しい時期でもある。子共達の「学びと育ち」をしっかりと確認したい。

●４の１「角の大きさの表し方」（４／１０）時間＜比嘉　真紀子＞⇒『やわらかい、ココロ』
●４の３「角の大きさの表し方」（５／１０）時間＜伊豆味日向子＞⇒『やわらかい、雰囲気』
●４の２「角の大きさの表し方」（７／１０）時間＜吉田　将　寿＞⇒『やわらかい、コトバ』



■ 4年2組（算数）「 吉田　将寿 」先生　2校時　互見授業

【児童の手（学習規律）】



●「教室の床が綺麗」「４の２」



●「級友との学びが真剣」「４の２」





【教室の色（支持的風土）】

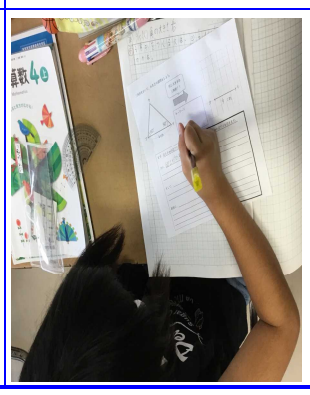
●「やわらかい、コトバ」の担任「4の2」



●チャイムと共に「黙想」出来てる。
●高学年の仲間入り、意識を持っている
●教師が定規を使って板書をはじめる。
●子共達も定規を使ってノートを書く。
●[T] みんな大きさがちがうけど？
●[S] みんな、ちがっていいんだよ。
■ペアで話し合う。その時の様子は・・
●[S] どこに書くの？
●[T] 隣の人に聞いてみて。迷っている。自由に見に行っていいよ。









【教師の眼（教師の姿勢）】

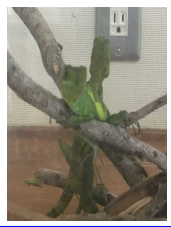
■今回は授業参観とそのReflectionは、教頭先生が行います。
　人材育成の観点から嘗ての指導主事の眼で注視し見取りを行ってくれました。
　温かく、厳しく、寄り添い「良さ」を見つけてくれました。



●[S] 直、点アに印をつける。
●[T] Ｒさん、あなたのヒントで取りかかる人が増えたよ。
●後で直していたけど、板書して訂正することも必要。
●[S] 交わる。[T] Ｓさん、何て言った？
●[T] 何か足りない。隣同士話し合って。
●机間巡視しながら、頑張りを称賛して。
●タイムマネジメントも、「ＯＫ！」だ。
●Ｗシート、接続後を使って分かり易い。

●＜まとめ＞算数の言葉を使いまとめる。
●＜振り返＞書き方の例が示されている。
●子ども数名の発表があれば良かった。







【感想】　「互見授業・リレー方式」（４の２：将寿 先生）　．．．．　本当に　有難う　ございました。♥

※　先ずは、「お詫びを申し上げます。」 折角準備していただいた「互見授業」、しかも、学年会で検討してリレー方式として計画していただいた「その回の授業」なのに、参観出来なかったことに対して、衷心より「本当にお詫びを申し上げます。」しかし、４学年職員の共通理解と共通実践を見ていて、子共達の「学びと育ち」については関心しているところです。１組・真紀子先生の「やわらかい、ココロ」、３組・日向子先生の「やわらかい、雰囲気」、そして、２組・将寿先生の「やわらかい、コトバ」により、子共達へのアプローチが、子共達の「変容」へ繋がっていると思っています。児童理解、学年・学級経営の部分ではGood！です。教科学習の部分については、今後、校内研修、学年会等でも「深めて」いきましょう。



校長より